

市議会 9月定例会行政報告



○「米の日」事業
今年から、八月十八日を

土地改良区、水利組合等を通じながら、番水制、井戸の掘削、ポンプ揚水等あらゆる手だてをしていただきました。市としても、県の干ばつ応急対策事業に併せて、助成措置を講じました。

「米の日」を通して

地域農業を活性化

市議会九月定例会が招集された九月四日、畠山市長が行政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。

なお、九月定例会で審議された議案などについては、次号でお知らせします。

米の生育状況と

「米の日」事業

○稲の生育状況
七月以降、高温多照状態が続いたことで、それまでの稲の生

育の遅れが一気に回復しました。穂数は昨年並みで、出穂期は平年に比べて二、三日早まったことから、平年作が期待されています。

しかし、稲の一生で特に水を必要とする減数分裂期及び出穂開花期に当たる期間に、四十七日間もの無降雨状態が続いたため、一部の田では減収や品質低下を免れないものと心配しています。

国道7号線

交通渋滞対策

建設省は昨年五月、全国で交通渋滞実態調査を実施し、渋滞対策緊急実行計画を策定しました。当市の関係では、桂高校前交差点、市立総合病院前交差点ほか四カ所が計画に盛り込まれています。

特に、桂高校前交差点については短期計画に盛り込まれており、バスレーンの拡幅と地下道の建設が決定されています。建設省では、去る八月十一日地権者説明会を開催。地権者から測量についての同意を得ています。計画では、今年度から用地買収

に入り、平成四年度までに工事完了となっています。

'89 大館大文字まつり

'89大館大文字まつりは八月十六日、「火と音と光の競演」をテーマに、盛大に開催することができました。

また、八月十二日から十八日までのうち六日間、二階建てバス「ハチ公号」の市内運行が行われました。これは、今年四月に民間団体が中心となり発足した「大館まちづくり協議会」の行動第一弾として行われたものです。延べ五千人の皆さんが乗車し、いつもとは一味違う目線で大館の街並みを見ることができたとされています。

大文字まつりが成功のうちに終了することができたことは、ひとえに関係各界の皆さんのご支援、ご協力によるものであり、改めて感謝を申し上げます。

その他の報告

- ▽ふるさと創生事業
- ▽第一回東京きりたんぼ祭
- ▽緊急通報システムの施行実施
- ▽養護老人ホーム移転改築事業
- ▽交通事故状況と交通安全対策
- ▽中国人殉難者慰霊式と日中友好文化交流事業
- ▽市町村道整備モデル事業

市長メモ



No.17

出づる月散りし花

九月十五日の敬老の日を中心に、各地区で敬老会を開催しています。今年も、先輩の皆さんの元気なお姿を拝見しながら語り合うことができることは、喜ばしい限りです。

敬老会の開催に当たっては、婦人会の皆さんに大変ご苦労ご難儀をおかけしています。この場を借りて、厚くお礼申しあげます。

人間は一人(孤独)では生きていけません。特にお年寄りにとってはそうでしょう。お年寄りたちが孤独にならないためには、自ら努力をして社会参加をすることが最善の策です。積極的な参加をお待ちしています。

だれの詩であつたでしょうか、「出づる月を待つべし、散りし花を追うべからず」を思い出します。つまり、先々に思いをはせることを大事であり、昔のきれいな花、過去にだけこだわっていたら、心身共に老化を助長するということでしょう。

最近、お年寄りの交通事故死が増えています。お出かけの際は、くれぐれもお気をつけて。

畠山 慎治